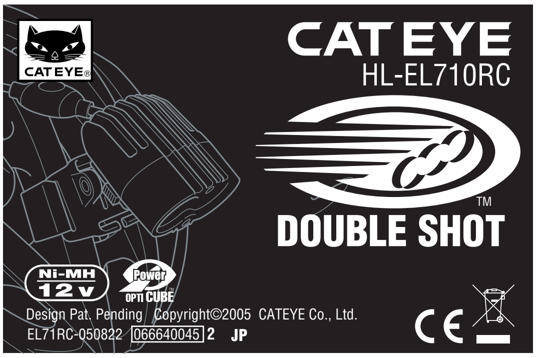


Copyright©2005 CATEYE Co., Ltd.

## 製品保証について

**2年保証：ライトユニット・バッテリーユニット・バッテリーチャージャー**（ただしバッテリーの劣化は除く）

取扱説明書に記載された正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理いたします。お名前・ご住所・ご購入日・故障状況を明記の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。
修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。製品に対するお問合せはEメールでも受付けております。

［宛先］ **株式会社キャットアイ** 製品サービス課
〒546-0041　大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL　：(06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX　：(06)6719-6033
URL　：http://www.cateye.co.jp
e-mail：support@cateye.co.jp

## はじめに

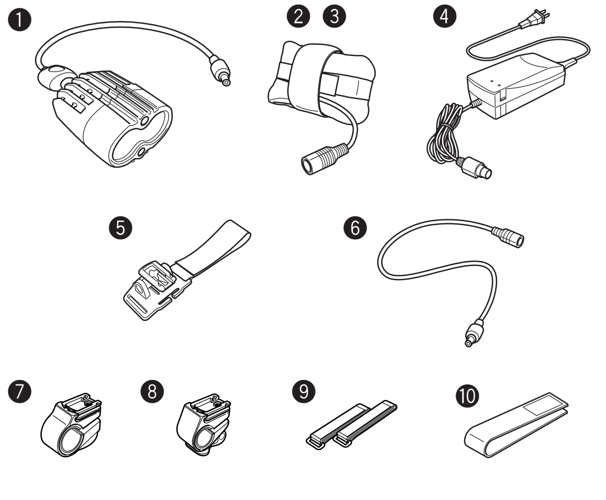
**ご使用の前に必ず本取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後はいつでも見れるように大切に保管してください。**

このたびはキャットアイ「DOUBLE SHOT（ダブルショット）HL-EL710RC」をご購入いただきありがとうございます。
本製品は光源にハイパワー白色LEDを使用し、従来のバルブに比べ寿命が飛躍的に伸びた理想的なハイパワー充電ライトです。

### ⚠ 安全にご使用いただくために

- バッテリーユニットやバッテリーチャージャーのプラグはショートさせないでください。発熱や発火により火災や機器破損のおそれがあります。
- プラグの接続やベルト類の固定は確実に行ってください。走行中に外れると消灯するだけでなくコードを車輪に巻込む恐れがあり危険です。
- コード等が傷んだ場合は絶対に使用せずに、当社製品サービス課に修理を依頼してください。
- 点灯中及び消灯直後はライトユニットが高温になりますので、火傷等にご注意ください。
- 幼児の手の触れるところに放置しないでください。
- 不意のバッテリー切れに備え、乾電池式のライトや予備のバッテリーユニットの携行をおすすめします。
- 長期間放置しておくと自己放電により電圧が低下します。ご使用の前に充電を行ってください。
- 過放電（点灯しなくなった状態で、スイッチをオンのまま長時間放置すること）はバッテリーの寿命を縮めます。使用後は充電することを心掛けてください。
- 本体や付属部品が泥等で汚れたときは、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、空拭きします。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使用しないでください。
- バッテリーユニットは無線式メーターから10 cm以上離して取付けてください。近すぎると送受信に影響を与えます。
- ライトユニット、バッテリーユニット、バッテリーチャージャーは分解しないでください。
- 本製品は雨中での使用に耐える程度の防水能力です。水に浸けたりバッテリーバッグ内に雨が侵入しやすい状態で使用しないでください。

**初めてお使いになる前に**
工場出荷時、バッテリーユニットは点灯確認ができる程度に充電されています。十分な充電はされていませんので、ご使用になる前に使用方法「バッテリーユニットの充電方法」に従って必ず充電を行ってください。



### 構成品一覧

❶ ライトユニット
❷ バッテリーユニット
❸ バッテリーバッグ
❹ バッテリーチャージャー
❺ ヘルメット用ブラケット
❻ 延長コード
❼/❽ H31オーバーサイズハンドル用ブラケット／H32ブラケット（ゴムパッド厚・薄 各1枚付き）
❾ コードベルト（2本）
❿ 補助ベルト

## ヘルメットへの取付方法

### H-1 ブラケット／ライトユニットの取付

ヘルメットにヘルメット用ブラケットを取付けます。
1. ヘルメットのエアダクトを利用して、ブラケットベルトをしっかりと固定します。
2. ヘルメット用ブラケットにライトユニットを装着します。
3. コードはヘルメット後方にコードベルトで固定します。
   ヘルメットをかぶり適正な方向を照らすようにライトの角度を調整します。
   取外すときはレバーを押しながら引き抜いてください。

⚠注意　使用後の取外しは本体の温度が十分に冷めてから行ってください。

### H-2 延長コードの接続

ライトユニットとバッテリーユニットの間に延長コードを接続します。

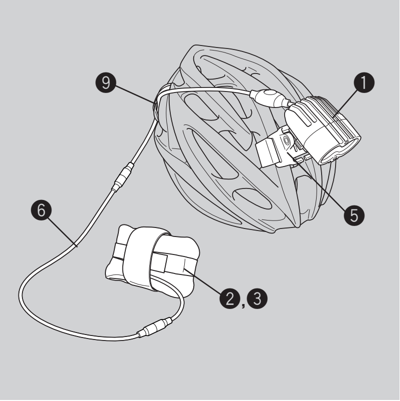
⚠注意　プラグを回すとロックがかかります。必ずロックした状態でご使用ください。

### バッテリーユニットの取扱い

バッテリーユニットはポケットやバック等に収納します。
収納前にバッテリーユニットのコードの処理、バッテリーバックの収納状態が正しいか確認してください。

⚠注意　コードの配線は走行に支障のないように処理してください。また、コード内部で断線する恐れがあるため曲げないでください。

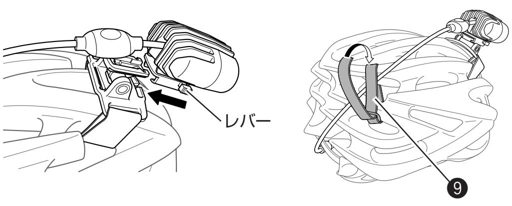
重 要　取付けベルトはバッテリーの中央を巻くように固定してください。



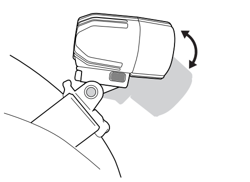
**H-1**

**1.**

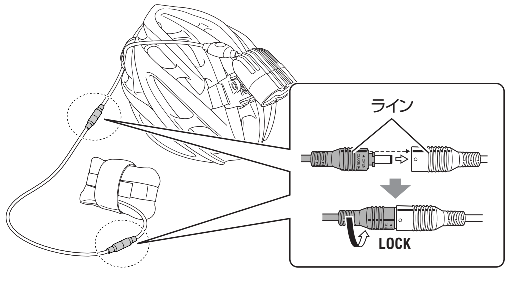
**2.**




**3.**



**H-2**



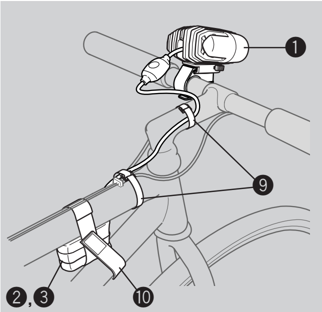
## 自転車へ取付ける場合

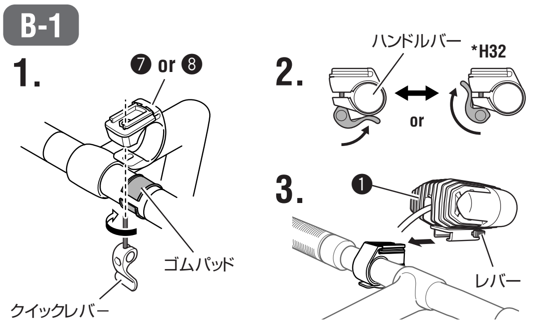
### B-1 ブラケット／ライトユニットの取付

ハンドルバーにブラケット（H31またはH32）を取付けます。

参 考 オーバーサイズのハンドルバーにはH31を使用します。

1. クイックレバーを一旦取外し、ブラケット（ゴムパッド付き）をハンドルバーにはめ込みます。
   参 考 ハンドルバー径との調整は、ゴムパッドの厚み、ブラケットの種類で行います。
2. クイックレバーを回してある程度締め付け、レバーを倒して固定します。
   ⚠注意 **ご使用前に使用方法「照射角度について」の説明に従いライトの角度を調整してください。**
3. ブラケットにライトユニットを取付けます。
   取外すときはレバーを押しながら引き抜いてください。
   ⚠注意 **使用後の取外しは本体の温度が十分に冷めてから行ってください。**




### B-2 バッテリーユニットの装着

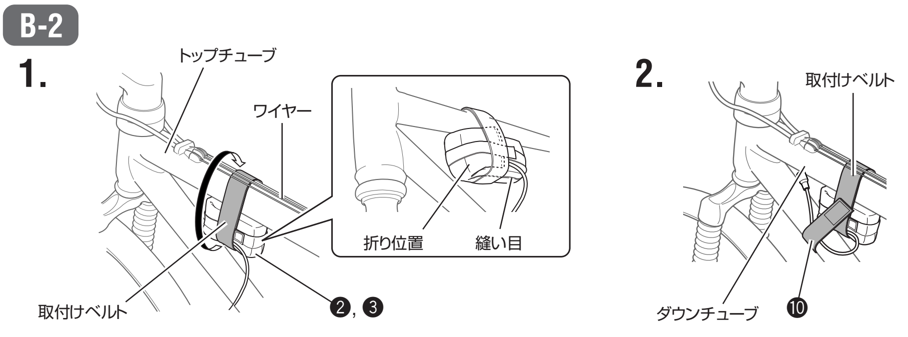
バッテリーユニットをフレームに装着します。

取付ける前にバッテリーユニットのコードの処理、収納状態が正しいか確認してください。

⚠注意 **取付けの際はバッテリーバッグの縫い目が下になり、折り位置が前方になるようにしてください。
また、取付けベルトはバッテリーの中央を巻くように固定してください。**

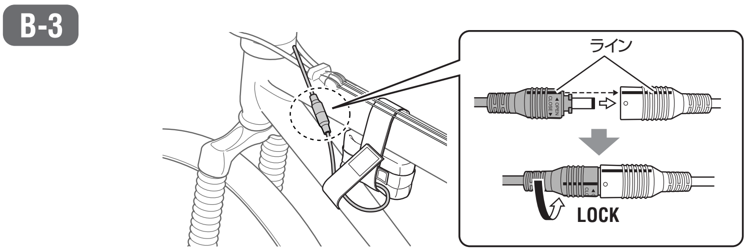
1. トップチューブに取付けベルトを巻き付けて固定します。
   ⚠注意 **取付けベルト、補助ベルトはワイヤー類の上から巻き付け固定しないでください。ブレーキ、変速操作に支障をきたし危険です。**
2. 横振れを防止するため補助ベルトでダウンチューブに固定します。

重 要 **フレーム形状によっては図の位置に取付けできない場合があります。他の位置に取付ける際は、バッテリーバックへの水の侵入を防ぐため、バックの折り位置が前方を向き、縫い目が下側になるように注意してください。**




### B-3 コードの接続と固定

1. ライトユニットとバッテリーユニットのコードを接続します。
   ⚠注意 **プラグを回すとロックがかかります。必ずロックした状態でご使用ください。**
2. コードベルトでコードの要所をフレームやステムに固定します。
   ⚠注意 **コードの配線はハンドル操作の際に負荷がかからないように、走行に支障のないように行ってください。また、コード内部で断線する恐れがあるため鋭角に曲げないでください。**

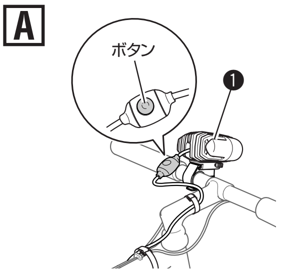



## 使用方法

### A 点灯／消灯

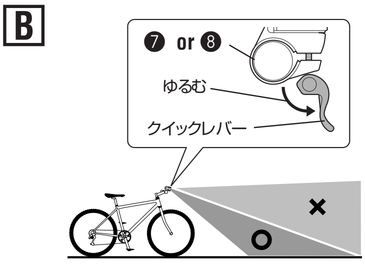
ライトユニット後ろのボタンでライトの点灯／消灯を切り換えます。

| | |
|---|---|
| **点灯時間** | **約5時間** |




### B 照射角度について

自転車に固定する場合は対向車に直接光があたらないようにライトの角度を調整します。




### C バッテリーユニットの充電方法

**❗ 重要**

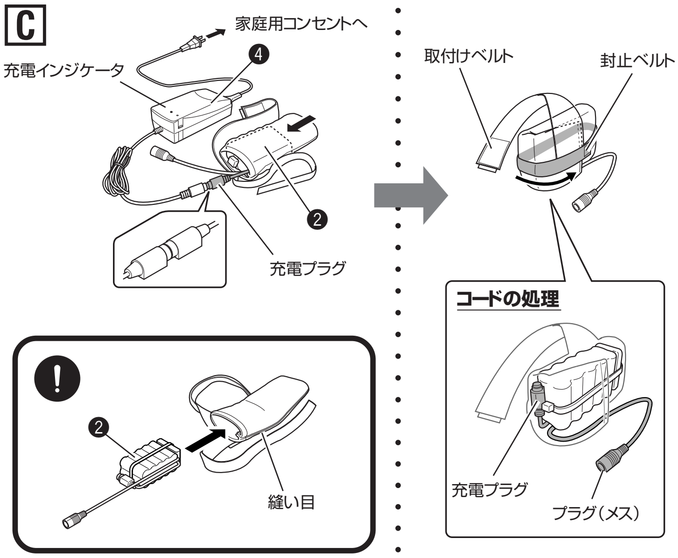
- 必ず専用のバッテリーチャージャー（100～240Vの電源に対応）を使用してください。
- バッテリーユニット本体はバッテリーバッグから取り出さないでください。
- 充電後のバッテリーユニットの収納は、バッグ開封前の状態に戻してください。収納状態によっては雨水が侵入しやすくなり、機器の故障につながります。
- 標準充電時間および点灯時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。
- 正しい充電を行っても点灯時間の著しい低下が見られる場合はバッテリーユニットの寿命です。新しいバッテリーユニットと交換してください。使用済みのバッテリーは地域で定められた適切な方法で処分してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **標準充電時間** | **約3時間** | | |
| **充電インジケータ点灯状態** | オレンジ点灯 ：通電 | 赤点滅 ：充電中 | 緑点灯 ：充電完了 |

1. バッテリーバッグの封止ベルトをはがしてバッグを開きます。
2. バッグの開口部から充電プラグが見える位置までバッテリーユニットを押し出し、バッテリーチャージャーと接続します。
3. バッテリーチャージャーを家庭用コンセントに接続します。
   参 考 充電が完了すると充電インジケータが赤い点滅から緑点灯に変わります。
4. 充電後は充電プラグを外し、図のようにコードを処理してバッグを閉じ、封止ベルトできつく縛って口を閉じます。
   ⚠注意 **封止ベルトの巻き付け後に、取付けベルトの位置がバッテリーユニットの中央に位置していることを確認してください。**

**❗ バッテリーユニットの収納について**

バッテリーユニットは図のようにバッグ内に収められています。
万一バッテリーユニットを取り出した場合は元の状態に戻してください。特に自転車に取付ける場合、収納状態によっては雨水が侵入しやすくなり、機器の故障につながります。



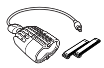

## 仕様

使用光源 ----------------- ハイパワー白色LED2灯
バッテリーユニット ---- ニッケル水素充電池
Ni-MH/12V 2700mAh
充電器 -------------------- CHR-2700（AC100V～240V 50/60Hz 0.5A）
連続点灯時間 ---------- 約5時間
標準充電時間 ---------- 約3時間
使用温度範囲 ---------- 充電温度：-10℃～40℃
点灯温度：-15℃～45℃
繰り返し充放電回数 -- 標準300回
（定格容量の50%の容量低下まで）

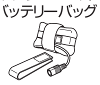
＊仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## 交換部品

**#534-1830**
ライトユニット

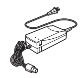


**#534-1706**
バッテリーユニット/バッテリーバッグ



**#534-1707**
バッテリーバッグセット

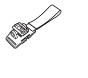
**#534-1708**
バッテリーチャージャー



**#533-8825**
ブラケット H31

**#533-8880**
ブラケット H32

**#534-1831**
ヘルメット用ブラケット



**#534-1832**
延長コード